

# 開拓前史



屯田兵による開拓が行われる以前の士別市では、北海道の先住民族であるアイヌ民族が生活を営んでいました。それは、江戸時代に士別に探検に来た、<sup>こんどうじゅうぞう</sup>近藤重蔵、<sup>まみやりんぞう</sup>間宮林蔵、松浦武四郎の史料から知ることができます。



特に北海道の名付け親でもある松浦武四郎が記した「天塩日誌」には、士別を探検した時のことが詳細に記されています。その記録からはアイヌ民族の伝統儀礼や食事など当時の士別に居住していたアイヌ民族の生活の様子を知ることができ、その他にも、開拓以前の士別の自然環境なども分かります。